

女性ファイナンシャルアドバイザー

岐阜信金、140人に倍増

女性活躍推進 手数料収入を拡大

18年3月期めど

岐阜信用金庫は2018年3月期をめぐり、営業職の女性ファイナンシャルアドバイザー（FA）をほぼ倍増となる約140人体制にする。日銀のマイナス金利政策の導入で厳しい事業環境の中、営業担当者を増員して収益力の強化につなげるとともに、女性活躍推進にも対応。教育体制を強化し、積極的に女性を登用する。

（高橋友基）

同金庫の女性職員は、や保険販売などの資産全体の3割超の約60運用業務を担当している。FAは投資信託の増員に向け、

事務などの業務効率化を進め、本部人員を再配置することで人材を確保する。現在は各営業店に1人ずつ配置しているが、成長が見込める店舗に重点的に配置する。

これにより、女性目線を生かしたきめ細かなサービスを提供でき、投資信託販売など手数料収入を増やし、女性の渉外担当者

や支店長も増やす方針。住田裕綱理事長は「女性活躍推進の観点から女性職員の活用を進め、収益力を高めた」としている。